

大分市報

発行所 大分市役所
編集兼発行人
大分市役所代表者
辛島 公一郎



正 賀

新年のごあいさつ

大分市長 安東 玉彦



新年おめでとうございます。

市民みなさんともに輝やかに
新春をお迎えできたことはまことに
ご同慶にたえません。本年も何と
なるかとお願ひ申し上げます。

年頭のごあいさつ

大分市議会議長 川上 勘一



明けましておめでとうございます。

わたくしは昨年三月市議会議員
の選挙後、引き続き議長におさ
れ、市民みなさんのご支持とご協
力を大過なく議長としての職責を
果たして越年することができました。

中小に融資

市商工課では、中小企業者へ資
金をあつせんするため、毎月末、
融資委員会を開いています。

大口融資

貸付金額 百万円以内。
申込資格 市内で満一年以上
営業している個人
または法人。

返済期間

返済期間 一年〜三年。
返済方法 一括または分割払
い。保証人 二名以上。

申込み方法

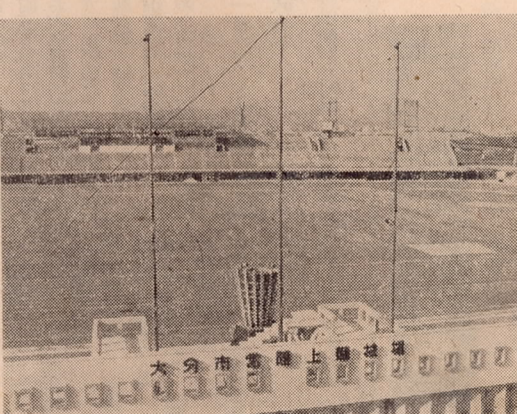
はじめてお申し込みの方は、毎
月十日迄にお申し込みください。

大分市 入選標語

- 花いっぱい善意いっぱい明るい町
ちりのないきれいな町に来る国体
大分にいっぱいいかにさろう
緑だ花だ親切だ
賀来中一 野崎 美津代

昨年の主なできごと

- 1. 市議会議員の選挙
六市町村合併により百二十九名の市議が合併後の選
挙で四十四名となり正常化した。
2. 大分港の開港
開港により外国船が直接入港できるようになり、貿易
港として脚光を浴びるようになった。
3. タッチゾーンの解消
行政の一本化を早期に実現し、事務機構の改善によ
り大分市行政水準の均一化をはかった。
4. 一億円の減税
三十九年度につき市税の大巾減税を実施した。
5. 産業公害事前調査の実施
吉野町、十津川町、厚生町
通産、厚生両省により新産業都市モデル地区としての
公害事前調査を行ない、大分地区整備計画の基礎をま
とめる。



- 6. 市営陸上競技場が完成
工費一億三千円を投じ、全国屈指の陸上競技場を建
設し、七月にはインターハイが盛大に行なわれた。
7. 文化会館の着工と堀のしゅんせつ
総工費四億六千万円の文化会館建設にあわせて、周囲
の堀のしゅんせつをはじめた。
8. 国勢調査で人口急増
大分市の総人口が二十五万四千四百五十五人となり前回
にくらべて二万九千二百六十四人の増、こと大分地
区では十七パーセント増で九州七十五市中最高の増加
率を挙げた。
9. 九州電力大分火力発電所の建設が決定
九州電力との協定により一号機立地に火力発電所(一
十五万キロワット)の建設が決り近く着手すること
になった。
10. 水道事業計画を決定
十五万三千一億円の工費による大分市水道事業を
開始した。

